

# 豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

## 世界をリードするものづくり中枢都市 豊田市

生産性の向上

国際競争力の強化

安全・安心なまちづくり

御礼

令和8年度 全線開通予定

国道155号 豊田南バイパス

長野県(仮称)駅

FIA世界ラリー選手権  
FORUMS RALLY JAPAN 2024

世界屈指のテストコースを併設する  
トヨタテクニカルセンター下山  
令和6年3月 全面運用開始

雇用を支える製造業

世界につながる自動車製造ネットワーク

最重点要望路線



令和6年7月

豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、気候変動による豪雨等の自然災害の激甚化・頻発化や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な経済社会の構築、世界的な物価高騰等による経済の下振れリスクへの対応等、「時代の転換点」ともいえる構造的な課題に直面しています。また、GX・DXの推進、経済安全保障の強化、新たな国土形成計画に基づく「新時代に地域力をつなぐ国土」の実現にも取り組む必要があります。

世界をリードするものづくり産業の中核都市である本市においても、慢性的な交通渋滞による経済損失、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や気候変動に伴い強度と頻度が増加する風水害、加速化するインフラ施設の老朽化など、我が国同様に様々な課題を抱えています。

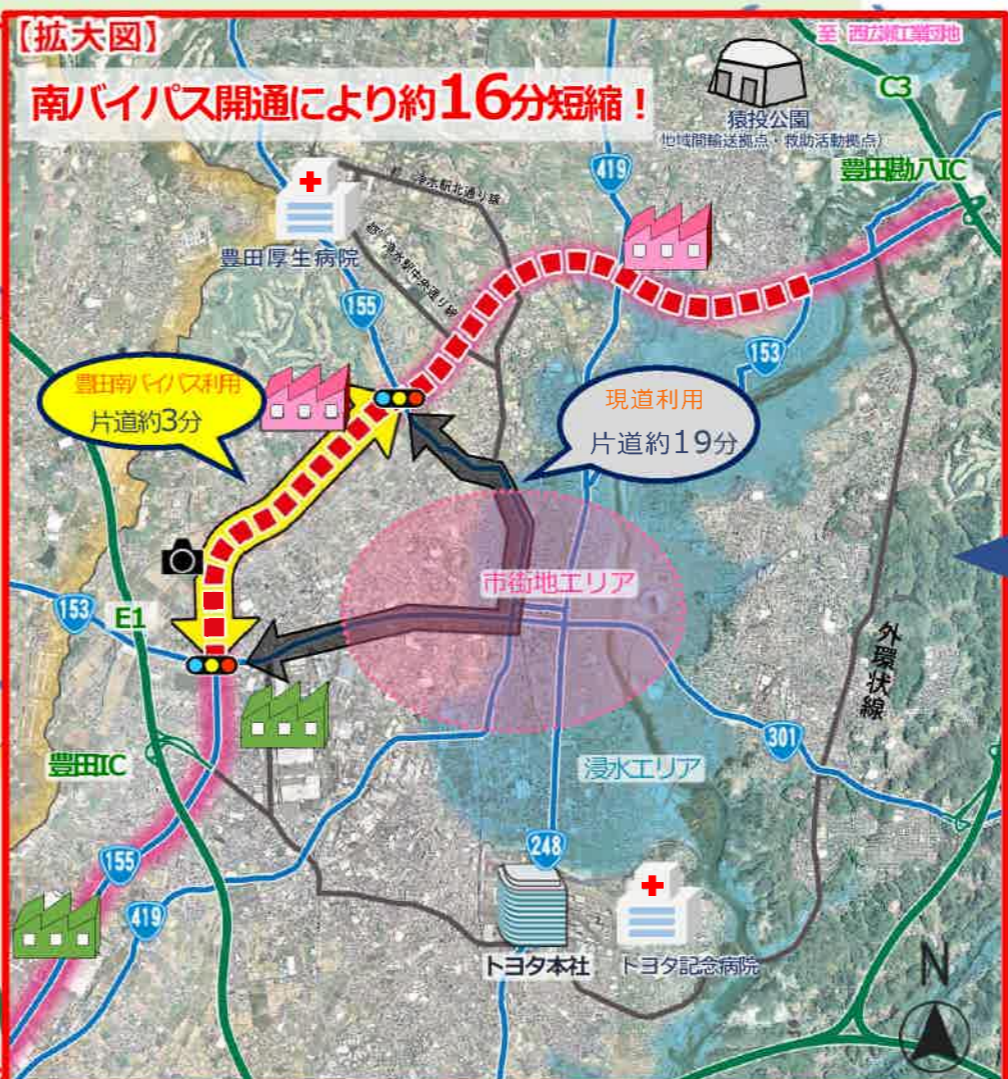
このような状況に加え、自動車産業を取り巻く環境が激しく変化する中で、ものづくり産業の中核としてこれまで以上に日本経済を牽引し将来にわたり持続可能な経済成長を実現させるためには、産業拠点を国内にしっかりと定着させ、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き人流・物流の円滑化を図る道路ネットワークの構築、インフラメンテナンス及びGX・DXの推進などの防災・減災、国土強靱化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 生産性を向上させ、成長力及び国際競争力の強化に資する幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**  
とりわけ、国道155号豊田南バイパスについては、令和8年度の全線開通に向けてより一層推進するとともに、一体的に効果を発揮する国道153号豊田北バイパスについても、計画的かつ着実に推進すること
- 2 広域な人流・物流を支え強靱で信頼性の高い幹線道路ネットワークの整備について、とりわけ、国道153号伊勢神改良を計画的かつ着実に推進すること**
- 3 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても必要な予算・財源を確保すること**  
また、令和6年能登半島地震を踏まえ、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保すること
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額を満額確保すること**

- 世界につながる自動車製造ネットワークの形成
- 巨大災害にも強くしなやかで『とまらない経済活動』を実現



自動車関連企業の声

開通見通しの公表に感謝。輸送ルートの再検討を予定。工場間及びICへのアクセスが1分でも短縮できることはありがたい。1日でも早い開通に期待。(R6.5企業ヒアリング)



**自動車物流の生産性や効率性を向上**  
 市街地を迂回し東名と東海環状を直結

主要渋滞箇所  
 の解消に寄与

▲通勤時の国道153交通状況

⇒速達性や定時性の向上により  
 安定的な部品の供給を実現  
 ⇒カーボンニュートラルへの貢献  
 物流の2024年問題への対応を  
 物流の円滑化によりサポート

**災害時も強靱な命綱として機能を発揮**  
 強靱な緊急輸送道路ネットワークを形成

豊田厚生病院  
 豊田IC  
 豊田記念病院

災害時も  
 ⇒市民活動や企業活動を維持  
 ⇒迅速な救命救急活動や  
 復旧活動を支える

**「命の砦」へのアクセス性が向上**  
 第3次救急医療施設への15分圏域が拡大

豊田厚生病院  
 トヨタ記念病院

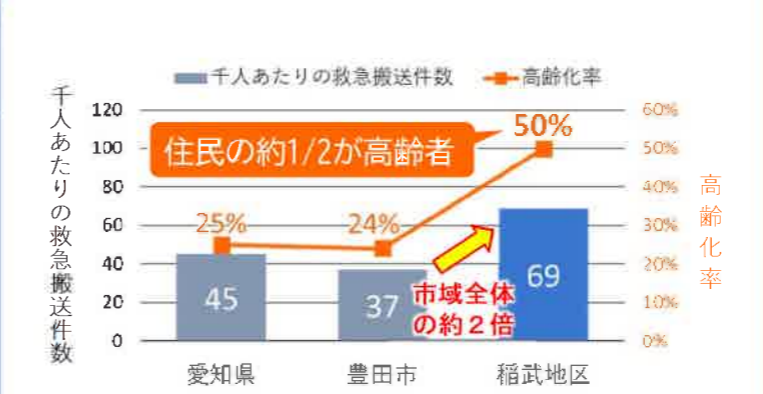
現況 +5.4万人 整備後  
 ≒10.1万人 → ≒15.5万人

⇒救急医療活動を支え  
 市民の命を守る

- 人やモノの安全で確実な移動を実現する「命の道」
- 交流のセントラルハブとしてリニア駅を核とした広域観光交流圏を形成



『地域住民の命を守る』足助病院への唯一の道  
第2次、第3次救急医療施設へのアクセス性向上



広域な危険物輸送の唯一のルート  
重要物流道路の信頼性や安全性を向上

**危**

国道153号が唯一のルート!  
116台/日(平日)が通行※

※【出典】H22.2名古屋国道事務所調査

□安定したエネルギー供給により生産性を向上

名古屋駅と長野県(仮称)駅を結ぶ主要路線  
国内・外との観光交流や経済活動を活性化

<p>豊田市中心部</p> <p>豊田市美術館</p> <p>○観光客数：約32万人/年</p>	<p>足助地区</p> <p>香嵐渓の紅葉</p> <p>○観光客数：約71万人/年</p>
<p>豊田市中心部</p> <p>鞍ヶ池公園</p> <p>○観光客数：約145万人/年</p>	<p>稲武地区</p> <p>重点「道の駅」どんぐりの里いなぶ</p> <p>○観光客数：約38万人/年 (R5.1~R5.12実績)</p>



愛知県内の直轄国道で**唯一の**異常気象時通行規制区間 (連続雨量150mm)

令和5年6月の豪雨で約10時間に及ぶ通行止めが発生!

中部地方整備局管内の直轄国道で**唯一の高さ制限** (H=3.5mを超える車両通行不可)

大型車は中央線をはみ出して走行!

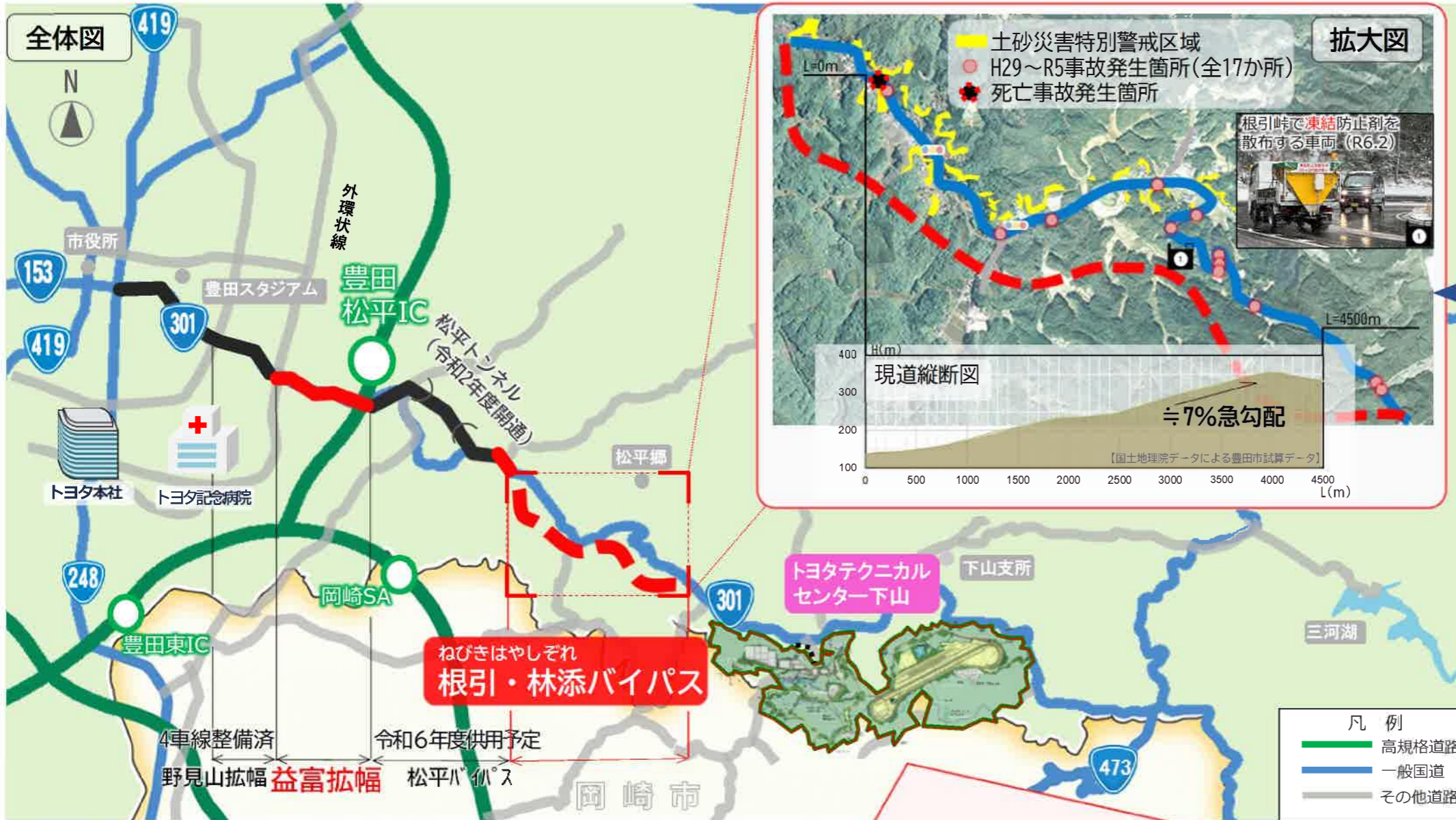
地方創生の拠点 重点「道の駅」どんぐりの里いなぶ  
ラリーを活かしたまちづくり

重点「道の駅」でのイベント開催

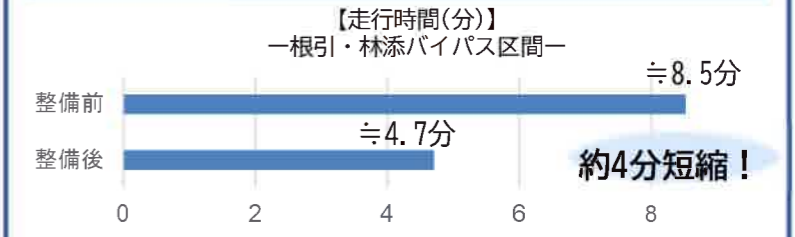
稲武地域を走行するラリーカーの沿道応援 (2023 RallyJapan)

道の駅を核とした地域力の向上

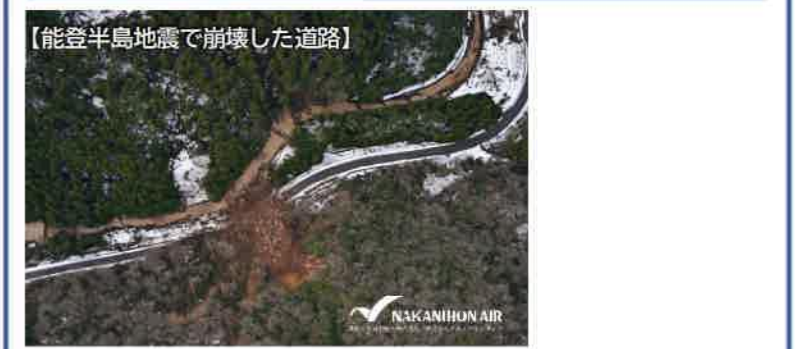
- 産業拠点の経済活動を支援し、ものづくり中枢都市の成長を実現
- 安全・安心な暮らしを支え、活力を保ち続ける山村地域を実現



次世代のものづくりのさらなる発展に貢献  
産業拠点及びICへのアクセス性向上



自然災害から地域のいのちと産業を守る  
緊急輸送道路ネットワークの強化



山村地域の生活機能を維持  
安全性・走行性が向上し地域の持続性を確保



「もっといいクルマづくり」の拠点となる研究開発施設  
「Toyota Technical Center Shimoyama」 全面運用開始



アクセス道路整備で「もっといいクルマづくり」をサポート

- 令和6年3月25日 全面運用
- 従業員数 3,000人 (拡大し得る容量3,850人)
  - 本社と下山間の出張者数 3,656人 (R6.4~5 稼働40日分)
  - 開発車両の輸送 30便/日
- 根引・林添バイパスの開通により
- ・さらなる輸送力向上!
  - ・フルトレーラー輸送が可能となり輸送効率向上!

- 産業拠点とICへのアクセス性向上によるサプライチェーンの強靱化
- 交通需要の増加に合わせた4車線化整備



産業集積地の更なる生産性向上に寄与

主要渋滞箇所の混雑緩和



通勤・帰宅時には、1 kmを超える渋滞が発生

人流・物流の安全性・走行性が向上



【豊田市への特殊車両通行許可申請件数の推移】



ドライバー不足等に伴い車両が大型化

道路整備への期待感から土地利用が高度化



交通の円滑化が民間投資・需要を喚起

より一層の交通需要の増加に対応

四郷拡幅による所要時間の変化



(民間プローブデータより豊田市が算出)



- 四郷駅周辺土地区画整理事業の完了
- 花本産業団地の更なる拡張や民間商業施設オープン

**(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス【県事業】** ~ものづくり産業の基盤を支え 高規格道路へのアクセス性を高める道路整備~

- 自動車産業集積地と伊勢湾岸自動車道とを結ぶ物流ネットワークを形成
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通の実現



**県道宮上知立線の代替機能を発揮**  
国内外に向けたサプライチェーンを強靱化



□ 県道宮上知立線の代替機能を発揮  
⇒ 災害発生時においても交通を確保



□ 中田工区が令和4年12月に供用開始  
⇒ 物流の速達性・信頼性・強靱性が向上

**通過交通や大型車交通の機能分担**  
現道区間の混雑緩和や安全性を向上



□ 国道155号、国道419号、豊田南IC周辺は主要渋滞箇所指定されているほか、県道宮上知立線も慢性的な渋滞が発生  
⇒ 安全・安心な道路交通環境を実現

# 安全・安心な道路空間の構築

日本の未来を担う子供達の安全・安心を守るため、地域の実状に応じた通学路等の交通安全対策の強化・推進が必要です。

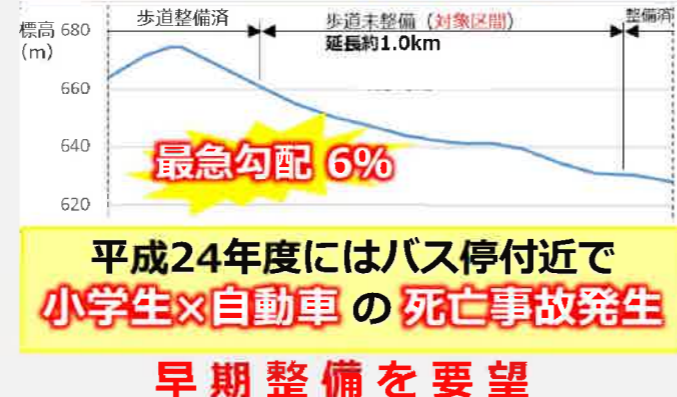
## 国道153号 交通安全対策 歩道整備事業（直轄事業）



### 小田木地区（事業中）



### 野入地区



名古屋圏と三河山間部を結び、恵那山トンネルを回避する危険物積載車両の代替路線である国道153号において、歩道整備により歩行者等の安全性を向上

**豊田市事業**

通学路における合同点検の結果を踏まえた交通安全対策

令和5年度完了（暫定整備含む）

対策箇所数 116箇所



# 災害に屈しない強靱なまちづくり

災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全・安心な社会を構築するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等の着実な推進に向けた予算の確保が必要です。

## 計画的なメンテナンスのための予算の確保

### 豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	約2,560km	愛知県下 第2位
橋りょう	約1,200橋	愛知県下 第3位
横断歩道橋	41橋	愛知県下 第1位

愛知県下トップクラスの道路施設管理数

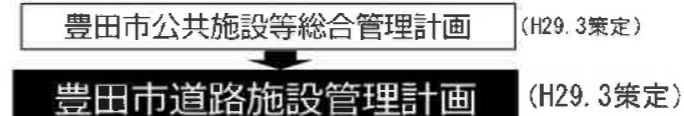


20年後には約80%の橋りょうが50年を経過

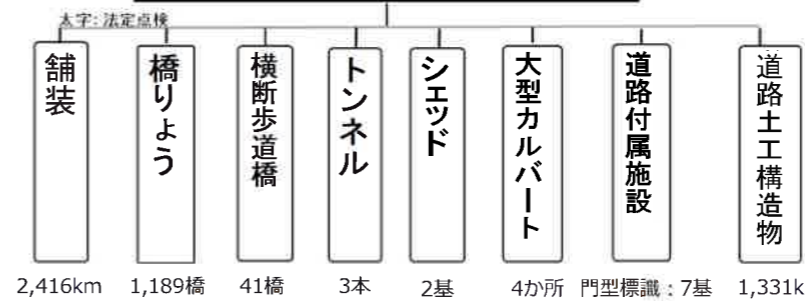
戦略的インフラマネジメントの推進

建設後50年を経過した橋りょう数の推移（2020年3月時点）

### ◆予防保全型メンテナンス



- 維持管理事業費の縮減・平準化
- 老朽化を起因とする重大事故ゼロ



1巡目の橋りょう定期点検結果 (H26~H30)

約125橋(約10%)が修繕対象に

長寿命化修繕計画に基づき修繕を実施

### デジタル化の推進（新技術の活用による施設の点検・診断）

#### 新技術活用による舗装点検

15分毎に映像をクラウドに自動送信

AIが穴ぼこ等を検知しフィードバック

#### 新技術活用による橋りょう等の点検

点検ロボットカメラ

橋梁点検支援ロボット

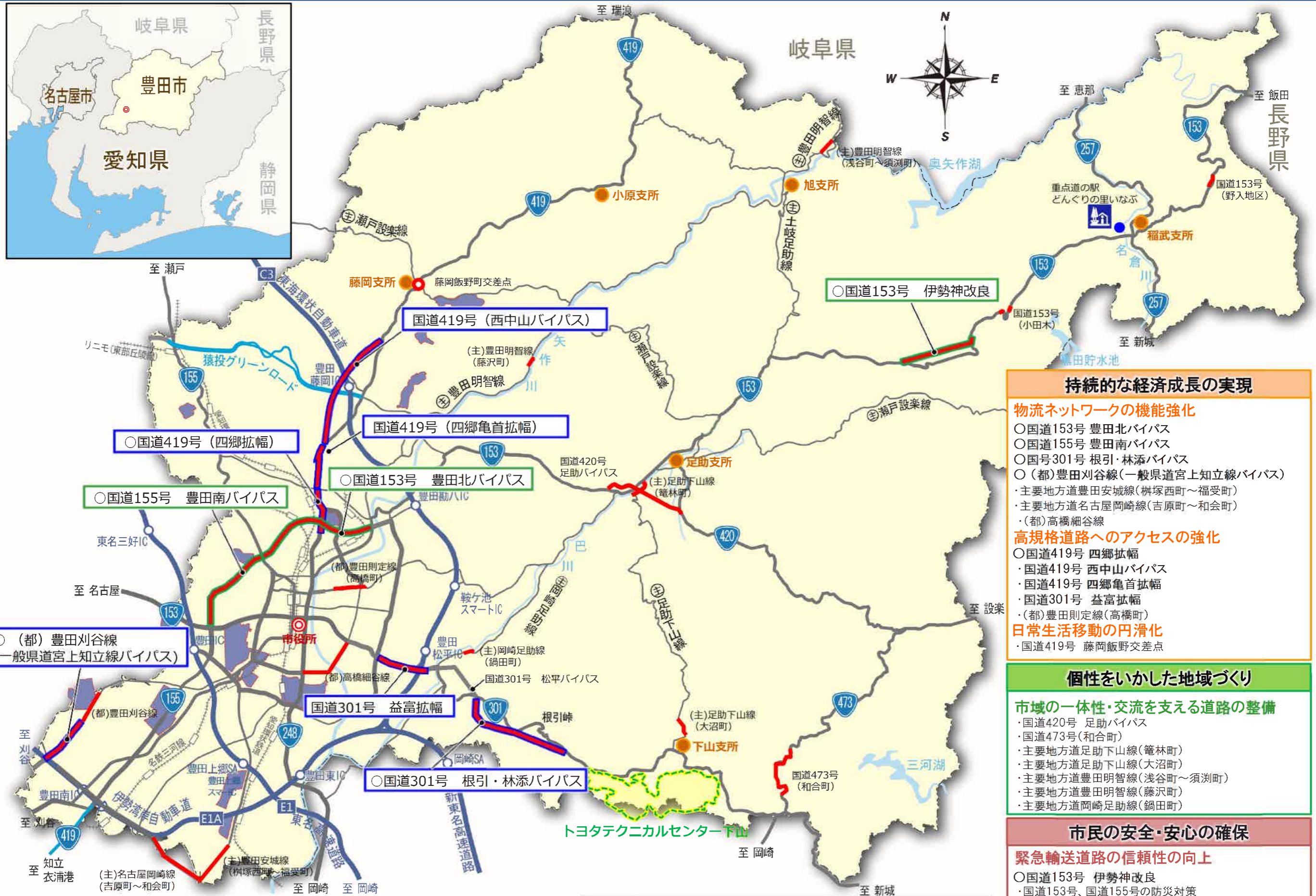
小型ドローン

AIによるひび割れ自動検出

● 将来を見据えた持続可能で効率的な維持管理



# 豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



- 持続的な経済成長の実現**
- 物流ネットワークの機能強化**
- 国道153号 豊田北バイパス
  - 国道155号 豊田南バイパス
  - 国道301号 根引・林添バイパス
  - (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
  - ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町～福受町)
  - ・主要地方道名古屋岡崎線(吉原町～和会町)
  - ・(都)高橋細谷線
- 高規格道路へのアクセスの強化**
- 国道419号 四郷拡幅
  - ・国道419号 西中山バイパス
  - ・国道419号 四郷亀首拡幅
  - ・国道301号 益富拡幅
  - ・(都)豊田則定線(高橋町)
- 日常生活移動の円滑化**
- ・国道419号 藤岡飯野交差点

- 個性をいかした地域づくり**
- 市域の一体性・交流を支える道路の整備**
- ・国道420号 足助バイパス
  - ・国道473号(和合町)
  - ・主要地方道足助下山線(箕林町)
  - ・主要地方道足助下山線(大沼町)
  - ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須測町)
  - ・主要地方道豊田明智線(藤沢町)
  - ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

- 市民の安全・安心の確保**
- 緊急輸送道路の信頼性の向上**
- 国道153号 伊勢神改良
  - ・国道153号、国道155号の防災対策
  - ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
  - ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
  - ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策
  - ・国道153号小田木、野入地区交通安全対策

凡例	
	重点要望事項 (国事業)
	重点要望事項 (愛知県事業)
	要望事項 ※○は最重点要望事項

令和6年 7月11日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長  
太田稔彦

豊田市議会議長  
羽根田利明

豊田商工会議所会頭  
三宅英臣